

私たちはこのタウンミーティングの呼びかけを  
まちづくりをキーワードにしました。  
なぜなら千葉ニュータウンは海拔 20mほどある北総台地のうえに開発されましたので  
台地と平地の間の斜面林とそれから続く  
北は利根川南は印旛沼にそそぐ水系周辺に保存された  
里山がきれいに残っているのです。  
私たちの住む場所は、豊かな里山自然と、十分な都市機能が  
マッチングできている場所だと考えたからです。  
すなわち、稲作が始まった2000年以上前から人が作った  
里山文化を含む広大な公園の中の台地のうえに、都市が進出してきた形に  
なっているのです。

「里山に囲まれたまちづくりを目指して」というテーマは  
多くの住民の関心を呼び200名を超える参加者がありました。  
当日はまずこの参加者の皆さんに  
スライドと講演で、楽しめる里山  
田園と都市とがマッチングするように構成されたニュータウンの開発  
住んでいる生き物の状態という順で現状を認識していただき  
その後意見をいただくという構成でタウンミーティングを企画しました。  
おかげさまで、普通の市民の方々に積極的に意見交換意に応じていただき普段感じている  
多くの声をお聞きすることができたと思っています。その内容は報告書のほうに書いてお  
きました。  
このタウンミーティングに実行委員会として参加してくれた15団体の皆さんは  
普段からこの地に環境保全都市の実現を目指して  
活動をしている方たちです。  
このときに寄せられた市民の声を自分たちの活動に取り入れ  
より多くの市民の皆さんの支持をいただきながら  
里山に囲まれたまちを出現させることがひとも含めた生物多様性の日常の実現につながる  
ことであるとお互いが確認できたことは、有意義なことだと思っております。  
これからさき、すでにあるそれぞれのフィールドで活動を続けていくこととなりますが  
このタウンミーティング開催までに交わした多くの議論を通じて  
見事な地域的連携が出来上がりました。  
今後このパワーを生かして、北総台地に広がる里山を生かしたまちづくりを推進していく  
ことができいくことが予感できます。  
後は国県町が、きちんと情報交換をして、せっかくの住民パワーの受け皿を  
おつくりいただけることをお願いして私の報告といたします。

北総里山クラブ 丹澤正直

20061224 環境づくりタウンミーティング総括大会

於：千葉県立中央博物館講堂